



2027年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年7月31日

上場会社名 亀田製菓株式会社 上場取引所 東
 コード番号 2220 URL www.kamedaseika.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 高木 政紀
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役 (氏名) 小林 章 TEL 025-382-2111
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2027年3月期第1四半期の連結業績(2026年4月1日～2026年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年3月期第1四半期	35,370	4.4	2,061	43.5	2,108	58.4	1,375	△93.7
2026年3月期第1四半期	33,873	40.8	1,436	33.8	1,330	△34.9	21,942	—

(注) 包括利益 2027年3月期第1四半期 2,606百万円(△85.3%) 2026年3月期第1四半期 17,724百万円(729.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2027年3月期第1四半期	21.75	—
2026年3月期第1四半期	346.91	—

(注) 1. 当社は、2026年4月1日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり四半期純利益を算定しております。

2. 2026年3月期期末において、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、2026年3月期第1四半期に係る各数値については、暫定的な会計処理の確定の内容を反映させております。これに伴い対前年同四半期増減率についても反映後の数値にて計算しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2027年3月期第1四半期	189,058	107,649	55.2	1,649.43
2026年3月期	188,223	106,466	54.7	1,627.34

(参考) 自己資本 2027年3月期第1四半期 104,324百万円 2026年3月期 102,927百万円

(注) 当社は、2026年4月1日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり純資産を算定しております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年3月期	—	15.00	—	51.00	66.00
2027年3月期	—	—	—	—	—
2027年3月期(予想)	—	5.00	—	19.00	24.00

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2. 当社は、2026年4月1日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っており、2027年3月期(予想)の年間配当金については当該株式分割を考慮した金額を記載しております。なお、当該株式分割を考慮しない場合の2027年3月期(予想)の年間配当金は72円となります。

3. 2027年3月期の連結業績予想（2026年4月1日～2027年3月31日）

（％表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
第2四半期(累計)	69,000	4.9	3,000	50.4	2,700	35.9	1,400	△93.7	22.13
通期	143,000	3.6	8,300	10.3	7,700	2.6	4,300	△82.6	67.99

（注）1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

2. 当社は、2026年4月1日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。2027年3月期の連結業績予想における1株当たり当期純利益については、当該株式分割の影響を考慮しております。

3. 2026年3月期期末において、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、2026年3月期に係る各数値については、暫定的な会計処理の確定の内容を反映させております。これに伴い対前年同四半期増減率についても反映後の数値にて計算しております。

※ 注記事項

（1）当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

（4）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2027年3月期1Q	66,955,950株	2026年3月期	66,955,950株
2027年3月期1Q	3,706,800株	2026年3月期	3,706,800株
2027年3月期1Q	63,249,150株	2026年3月期1Q	63,249,990株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

（注）当社は、2026年4月1日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、期末発行済株式数（自己株式を含む）、期末自己株式数及び期中平均株式数を算定しております。

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.4「1. 経営成績等の概況（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（決算補足説明資料の入手方法）

決算補足説明資料は2026年8月7日（金）に当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(四半期連結損益計算書)	7
(四半期連結包括利益計算書)	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結損益計算書関係)	9
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)	9
(セグメント情報)	10
(企業結合等関係)	12

1. 経営成績等の概況

前連結会計年度末において、TH FOODS, INC. との企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、前第1四半期連結累計期間については暫定的な会計処理の確定による取得原価の当初配分額の見直しを反映しております。そのため、前第1四半期連結累計期間との比較・分析にあたっては、暫定的な会計処理の確定による見直し後の金額を用いております。なお、詳細については、「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (企業結合等関係)」をご参照ください。

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間における国内経済は、雇用や所得環境の改善や賃上げを背景に底堅く推移したものの、物価高の長期化により節約志向が強まり、個人消費の回復は緩やかなものとなりました。

また、中東情勢など国際情勢の不安定化によるエネルギー価格の高騰や原材料の調達難、物流コストおよび人件費の上昇などが企業活動に影響を及ぼし、景気の先行きには依然として不透明感が残っています。

国内の食品業界においても厳しい経営環境が続いており、このような経営環境下、当グループは「中長期成長戦略2030」の実現に向けた歩みを進めております。

当社は、“お米の恵み”を「美味しさ」「健康」「感動」という価値へと高めることで、お客様の健やかなライフスタイルに貢献することを、パーパス（存在意義）である“Better For You”に込めております。

また、ビジョン（目指す姿）として、お米の持つ可能性を最大限に引き出し、世界に向けて新たな価値と市場を創出する“Rice Innovation Company”の実現を掲げております。

これらの取り組みを通じて、持続的な成長と企業価値の一層の向上を目指しております。

2026年度は、ビジョンの実現に向けて、「北米事業の拡大と国内米菓事業の収益性強化を推進」することを方針とし、国内米菓事業は変化への対応と独自価値訴求によるキャッシュ創出力の強化、海外事業はTH FOODS, INC. を軸とした北米成長シナリオの具現化、食品事業は市場開拓を通じたシーズ事業の成長に向けた様々な施策に取り組んでいます。

当第1四半期連結累計期間の売上高は、国内米菓事業、海外事業が堅調に推移し、前年同四半期を上回る実績を確保し、35,370百万円(前年同四半期比4.4%増)となりました。

営業利益については、食品事業が前年同四半期において好調に推移した反動から減益となったものの、国内米菓事業は価格改定などを通じた収益性改善、海外事業がTH FOODS, INC. の業績が堅調に推移したことにより、2,061百万円(前年同四半期比43.5%増)となりました。また、経常利益については、前年同四半期に為替差損を計上した反動増もあり、2,108百万円(前年同四半期比58.4%増)となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益については、前年同四半期にTH FOODS, INC. の連結子会社化に伴い、段階取得に係る差益20,598百万円を計上した反動減により1,375百万円(前年同四半期比93.7%減)となりました。

各セグメントの概況は、次のとおりであります。

<国内米菓事業>

国内米菓事業については、独自価値訴求型の競争戦略への転換を引き続き推し進めており、変化の激しい事業環境に柔軟に対応できる、収益性の高い事業構造を目指しています。

具体的には、従来の重点6ブランドを中心としたブランド強化策の継続展開に加えて、価格改定や生産の高効率化に取り組んでおります。

今期は「亀田の柿の種」が発売60周年、「ハッピーターン」が発売50周年を迎えることから、4月に発売した「亀田の柿の種」と「ハッピーターン」のコラボレーション商品を皮切りに、周年施策を通じたブランド強化に注力してまいります。

「亀田の柿の種」は、これまで取り組んできた「おつまみ需要」から「スナック需要」への拡張に加えて、女性が楽しめる「甘いおやつ需要」への拡張を掲げ、「女性も子供も楽しめるわくわくのおやつ」を目指した施策を進めています。「ハッピーターン」はテレビCMや東京駅での専門ショップのオープン、ポップアップイベントの開催など周年プロモーションを通じた需要喚起に取り組みしました。また、菓子の食事代替需要に着目し、米菓の新価値を創造する商品として、ほぼ食事のような満足感が得られることをコンセプトとした新商品を発売するなど、顧客起点でブランド・商品の独自性に磨きをかける取り組みを進めました。加えて、重点6ブランドの生産能力増強や販売促進費用の効率的な執行等、価値訴求に軸足を置いた活動を展開しました。

これらの取り組みの結果、重点6ブランドの売上高については、「亀田の柿の種」「無限」シリーズ、「こつぶっこ」が前年同四半期を下回った一方、「ハッピーターン」「亀田のつまみ種」「技のこだ割り」は前年同四半期を上回りました。

また、百貨店向け商品や土産物用商品を製造販売するグループ会社は、インバウンド需要の取り込みや成長チャネルの開拓などに取り組みました。これらの結果、国内米菓事業全体の売上高は18,235百万円(前年同四半期比3.3%増)となりました。

営業利益については、単体米菓において前期に実施した価格改定効果に加えて、重点6ブランドへの集中化によるプロダクトミックス(販売構成比)の改善、販売促進費用の効率的な執行、生産効率向上など各種施策を推進しました。また、百貨店向け商品や土産物用商品を製造販売するグループ会社も生産効率向上など収益改善に取り組んでいます。これらの結果、国内米菓事業全体の営業利益は1,447百万円(前年同四半期比45.2%増)となりました。

<海外事業>

海外事業については、北米成長戦略の具現化、アジア地域での持続的成長を通じた成長性と収益性の強化に取り組んでいます。北米はTH FOODS, INC.において、BtoB事業(バルク)が価格改定により一時的な販売減少となりましたが、BtoC事業が好調に推移したことで増収となりました。また、アジアは、OEM事業(タイ・カンボジア)が増収となったものの、自社ブランド事業(ベトナム・中国)における中国法人の国内販売が計画を下回ったことなどにより減収となりました。これらの結果、海外事業全体の売上高は13,284百万円(前年同四半期比9.3%増)となりました。

営業利益については、北米は、TH FOODS, INC.の収益性向上により大幅増益となりました。アジアは、タイ法人が米国向け輸出量の増加や為替変動(バーツ安)の影響により増益となりましたが、中国法人が減収影響により減益となったことで、同地域は減益となりました。これらの結果、海外事業全体では営業利益は556百万円(前年同四半期比211.4%増)となりました。

<食品事業>

食品事業については、亀田製菓本体とグループ会社の連携を通じ、成長投資の効果を引き出すべく市場開拓を通じた事業成長に取り組んでいます。長期保存食は高水準で推移した個人需要の反動減の影響を受け、前年同四半期を下回りました。一方で官公需や民間備蓄などは底堅い需要を維持しております。また、米粉パンは「おこめ食パン」の販路拡大に注力しています。さらに、植物性乳酸菌についても、機能性の訴求を通じた販路拡大を継続、欧米市場への本格展開に加え、アジア市場の開拓にも取り組んでおります。加えて、プラントベースフードは「たんぱく質食材」としての認知度向上、市場開拓に取り組んでいます。これらの結果、食品事業全体の売上高は2,026百万円(前年同四半期比7.3%減)となりました。

営業利益については、尾西食品の減収に伴う減益が大きく影響し、食品事業全体の営業利益は96百万円(前年同四半期比31.4%減)となりました。

[補足情報]

(単位:百万円)

	前第1四半期 連結累計期間	当第1四半期 連結累計期間	対前年同四半期比	
			増減額	増減率
売上高	33,873	35,370	1,497	4.4%
国内米菓事業	17,649	18,235	585	3.3%
海外事業 ※1	12,150	13,284	1,133	9.3%
食品事業 ※2	2,186	2,026	△159	△7.3%
その他(貨物運送等) ※3	1,887	1,825	△62	△3.3%
営業利益	1,436	2,061	625	43.5%
営業利益率	4.2%	5.8%		
国内米菓事業	996	1,447	450	45.2%
海外事業 ※1	178	556	377	211.4%
食品事業 ※2	141	96	△44	△31.4%
その他(貨物運送等) ※3	119	△39	△159	—

※1 海外事業は、海外子会社に加え、国内の輸出入取引を含んでおります。

※2 食品事業の主な内容は、長期保存食、植物性乳酸菌、米粉パンおよびプラントベースフード等であります。

※3 その他の主な内容は、貨物運送等であります。

(2) 当四半期の財政状態の概況

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は55,709百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,097百万円減少となりました。これは主に「商品及び製品」が313百万円、「その他」が411百万円それぞれ増加した一方、「現金及び預金」が444百万円、「受取手形、売掛金及び契約資産」が1,368百万円それぞれ減少したことによるものであります。固定資産は133,349百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,932百万円増加となりました。これは主に、有形固定資産の「その他」が2,633百万円、「顧客関係資産」が128百万円、投資その他の資産の「その他」が218百万円それぞれ増加した一方、「建物及び構築物」が270百万円、「機械装置及び運搬具」が895百万円それぞれ減少したことによるものであります。

この結果、総資産は、189,058百万円となり、前連結会計年度末に比べ834百万円増加となりました。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は27,811百万円となり、前連結会計年度末に比べ861百万円減少となりました。これは主に「電子記録債務」が511百万円、「未払法人税等」が343百万円、「賞与引当金」が858百万円それぞれ増加した一方、「短期借入金」が2,148百万円、「その他」が298百万円それぞれ減少したことによるものであります。固定負債は53,596百万円となり、前連結会計年度末に比べ512百万円増加となりました。これは主に「その他」が1,838百万円増加した一方、「長期借入金」が1,330百万円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は、81,408百万円となり、前連結会計年度末に比べ348百万円減少となりました。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は107,649百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,183百万円増加となりました。これは主に「親会社株主に帰属する四半期純利益」1,375百万円及び「剰余金の配当」1,075百万円により「利益剰余金」が300百万円増加したことや、「為替換算調整勘定」が1,176百万円増加した一方、「退職給付に係る調整累計額」が114百万円、「非支配株主持分」が213百万円それぞれ減少したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は55.2%(前連結会計年度末は54.7%)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2027年3月期第2四半期連結結果計期間及び通期の連結業績予想につきましては、2026年5月13日に公表した業績予想から変更しておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	20,612	20,168
受取手形、売掛金及び契約資産	18,548	17,180
商品及び製品	5,355	5,669
仕掛品	1,021	1,064
原材料及び貯蔵品	7,213	7,162
その他	4,080	4,492
貸倒引当金	△26	△28
流動資産合計	56,806	55,709
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	24,499	24,229
機械装置及び運搬具（純額）	25,271	24,376
その他（純額）	14,028	16,661
有形固定資産合計	63,799	65,267
無形固定資産		
のれん	16,380	16,390
顧客関係資産	19,021	19,150
商標資産	11,277	11,352
技術資産	341	330
その他	1,297	1,282
無形固定資産合計	48,318	48,507
投資その他の資産		
投資有価証券	3,915	3,972
その他	15,383	15,602
貸倒引当金	△1	△1
投資その他の資産合計	19,298	19,574
固定資産合計	131,416	133,349
資産合計	188,223	189,058

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2026年 3 月31 日)	当第 1 四半期連結会計期間 (2026年 6 月30 日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,976	4,935
電子記録債務	1,546	2,058
短期借入金	9,129	6,980
未払法人税等	549	892
賞与引当金	1,858	2,717
役員賞与引当金	121	27
資産除去債務	84	90
その他	10,407	10,108
流動負債合計	28,673	27,811
固定負債		
長期借入金	38,096	36,766
退職給付に係る負債	679	691
資産除去債務	348	340
その他	13,960	15,798
固定負債合計	53,083	53,596
負債合計	81,757	81,408
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,946	1,946
資本剰余金	719	719
利益剰余金	87,944	88,244
自己株式	△1,904	△1,904
株主資本合計	88,705	89,006
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,414	1,444
繰延ヘッジ損益	13	17
為替換算調整勘定	9,295	10,472
退職給付に係る調整累計額	3,498	3,384
その他の包括利益累計額合計	14,222	15,318
非支配株主持分	3,538	3,324
純資産合計	106,466	107,649
負債純資産合計	188,223	189,058

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前第 1 四半期連結累計期間 (自 2025年 4 月 1 日 至 2025年 6 月 30 日)	当第 1 四半期連結累計期間 (自 2026年 4 月 1 日 至 2026年 6 月 30 日)
売上高	33,873	35,370
売上原価	24,446	25,160
売上総利益	9,426	10,209
販売費及び一般管理費	7,990	8,148
営業利益	1,436	2,061
営業外収益		
受取利息	59	57
受取配当金	36	42
持分法による投資利益	—	9
為替差益	—	49
その他	56	58
営業外収益合計	152	217
営業外費用		
支払利息	61	145
持分法による投資損失	11	—
為替差損	147	—
その他	37	24
営業外費用合計	258	170
経常利益	1,330	2,108
特別利益		
段階取得に係る差益	※1 20,598	—
関係会社株式売却益	※2 403	—
特別利益合計	21,002	—
特別損失		
固定資産処分損	19	17
特別損失合計	19	17
税金等調整前四半期純利益	22,313	2,091
法人税、住民税及び事業税	520	704
法人税等調整額	△228	△117
法人税等合計	291	586
四半期純利益	22,022	1,504
非支配株主に帰属する四半期純利益	80	128
親会社株主に帰属する四半期純利益	21,942	1,375

(四半期連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
四半期純利益	22,022	1,504
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	43	30
繰延ヘッジ損益	6	4
為替換算調整勘定	△477	1,181
退職給付に係る調整額	△40	△114
持分法適用会社に対する持分相当額	△3,830	0
その他の包括利益合計	△4,298	1,101
四半期包括利益	17,724	2,606
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	17,824	2,472
非支配株主に係る四半期包括利益	△100	133

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結損益計算書関係)

※1 段階取得に係る差益

前第1四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)

TH FOODS, INC. の株式を追加取得し、連結子会社としたことにより発生したものであります。

※2 関係会社株式売却益

前第1四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)

当社の連結子会社であったMary's Gone Crackers, Inc. 株式をすべて譲渡したことに伴い発生したものであります。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。また、「企業結合等関係」の「比較情報における取得原価の当初配分額の重要な見直し」に記載の取得原価の当初配分額の重要な見直しに伴い、前第1四半期連結累計期間の数値は、当該見直し反映後のものを記載しております。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
減価償却費	2,385百万円	2,503百万円
のれんの償却額	217	234

(セグメント情報)

I 前第 1 四半期連結累計期間(自 2025年 4 月 1 日 至 2025年 6 月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	国内米菓	海外	食品	計				
売上高								
顧客との契約から生じる収益	17,649	12,150	2,186	31,986	1,887	33,873	—	33,873
その他の収益	—	—	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	17,649	12,150	2,186	31,986	1,887	33,873	—	33,873
セグメント間の内部売上高又は振替高	1	424	12	437	1,447	1,885	△1,885	—
計	17,650	12,574	2,198	32,423	3,334	35,758	△1,885	33,873
セグメント利益又は損失 (△)	996	178	141	1,316	107	1,424	12	1,436

- (注) 1. 「その他」には、貨物運送等の事業を含んでおります。
 2. セグメント利益又は損失 (△) の調整額12百万円は、セグメント間取引消去12百万円であります。
 3. セグメント利益又は損失 (△) は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。
 4. 「企業結合等関係」の「比較情報における取得原価の当初配分額の重要な見直し」に記載の取得原価の当初配分額の重要な見直しに伴い、前第 1 四半期連結累計期間のセグメント情報については、当該見直し反映後のものを記載しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

TH FOODS, INC. の株式を追加取得し、2025年 4 月 1 日をみなし取得日として連結の範囲に含めたことにより、「海外事業」において、のれんが13,827百万円発生しております。なお、のれんの金額は「企業結合等関係」の「比較情報における取得原価の当初配分額の重要な見直し」に記載の取得原価の当初配分額の重要な見直しが反映されております。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	国内米菓	海外	食品	計				
売上高								
顧客との契約から 生じる収益	18,235	13,284	2,026	33,545	1,825	35,370	—	35,370
その他の収益	—	—	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	18,235	13,284	2,026	33,545	1,825	35,370	—	35,370
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1	365	12	379	1,474	1,853	△1,853	—
計	18,236	13,649	2,038	33,924	3,299	37,224	△1,853	35,370
セグメント利益又は 損失 (△)	1,447	556	96	2,101	△51	2,049	11	2,061

(注) 1. 「その他」には、貨物運送等の事業を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失 (△) の調整額11百万円は、セグメント間取引消去11百万円であります。

3. セグメント利益又は損失 (△) は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

(企業結合等関係)

(比較情報における取得原価の当初配分額の重要な見直し)

2025年4月1日をみなし取得日として行われたTH FOODS, INC. との企業結合について、前第1四半期連結累計期間において暫定的な会計処理を行っていましたが、前連結会計年度末に確定しております。

この暫定的な会計処理の確定に伴い、当第1四半期連結累計期間の四半期連結財務諸表に含まれる比較情報において取得原価の当初配分額に重要な見直しが反映されており、のれんとして計上していた金額の一部を組み替えております。

この結果、前第1四半期連結累計期間の四半期連結損益計算書は、売上原価が246百万円増加し、販売費及び一般管理費が79百万円、法人税等調整額が122百万円それぞれ減少したことにより、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益が167百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益が45百万円それぞれ減少しております。